

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
220002	X-13/33-B-2-220002	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報検索	宇田 隆幸			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修	2年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	2年		
授業目的							
<p>情報検索の目的は、求める情報（情報要求）に対する結果（情報応答）を得ることにある。結果を得ること、しかし、情報検索には様々な課題がある。特に、網羅性、適合性を高めることが重要であるものの難しい。網羅性を高めるには、検索範囲の拡大（様々な情報源）、適切な検索キーワードの指定を始めとして多くの専門技術が要求される。また、適合性は網羅性と相反する関係（トレードオフ）にあるため、同時に適合性と網羅性を高めることはさらに難しい。本講義では、検索理論・検索機構・検索システムの性能評価方法などの基本を学ぶ。さらに、様々な検索対象ごとの検索方式、キーワード指定の方法、検索結果の優先順位決定方式などを学ぶ。最後に、適合性向上に対する技術（機械学習・深層学習の基礎）、情報検索と表裏をなす情報推薦機構について近年の動向を学ぶ。これらの結果として、図書館利用、調査活動、課題解決活動、研究活動に向けた情報活用能力を習得する。</p>							
各回の授業内容							
<p>第1回 【授】 情報検索・情報アクセス技術の概論 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第2回 【授】 情報検索システムの構成 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第3回 【授】 文書の収集と変換 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第4回 【授】 索引の重み付け（ベクトル空間モデル） 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第5回 【授】 検索モデル 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第6回 【授】 検索一書籍 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第7回 【授】 検索一雑誌と新聞 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第8回 【授】 検索一論文・論文の引用 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p>	<p>第9回 【授】 検索一特許・マルチメディア 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第10回 【授】 検索一Web・ランキング 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第11回 【授】 検索一統合検索（ディスカバリーサービス） 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第12回 【授】 情報検索システムの性能評価 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第13回 【授】 連想検索・機械学習（分類とクラスタリング） 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第14回 【授】 情報検索と情報推薦 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第15回 【授】 情報検索の未来像／定期試験 【前・後】 予習に4時間。事前学習として配布資料を精読し不明点を調べることに。</p> <p>第16回</p>						
成績評価方法							
<p>期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し全問の解答を求める。成績は期末試験結果（80%）と講義途中の提出レポート（20%）で評価する。課題の解法および参考解答を講義時に説明する。最終課題および期末試験については、参考解答をCampusmateに掲載する。</p>							
教科書・参考書							
プリントを配布する。参考文献は毎回、講義の中で紹介する。							
受講に当たっての留意事項							
配布物を精読し、分からない用語を整理すること。毎回の講義で課課題や演習の全問に解答すること。講義出席のみでは理解できない。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	大学図書館や専門図書館に向けた学術書・専門書の選書員。情報推薦検索エンジン研究・設計・開発経験（特許が1件、論文が20件超）。						×
学習到達目標							
図書館利用、調査活動、課題解決活動、研究活動に向けた情報活用能力を習得する。各回の講義内容を学修して授業目的に記載した事項を習得する。							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：E、G							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習